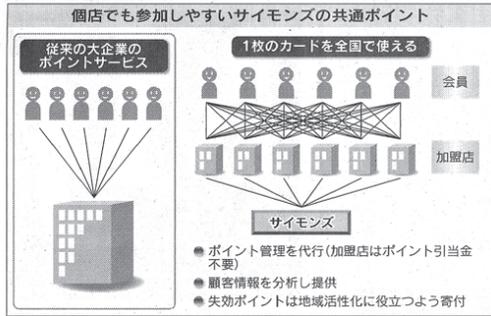


「地域マネーと電子マネーの利点を兼ね備えるサイモンズポイントカード」日経 MJ 紙で大きく紹介



地域通貨

人や商店に連帯感

地方の商店街の小さな店  
のポイントカードが全国で  
使える。地域通貨と電子マ  
ネーの利点を兼ね備えるの  
がサイモンズ(東京・中央  
が運営する「サイモンズ・  
ポイントカード」だ。  
業種を超えた共通ポイン  
トで小規模店舗でも集客効  
果が得やすい。小さな店が  
苦手をポイント処理業務と  
顧客アスペース管理業務と  
行い、手数料3%を取る。  
二〇〇四年六月にサイモンズ  
を開始。現在、全国で加盟  
一千店。会員十五万人に広  
がる。会員は購入品ごとに  
二枚づつ、支払いにも

新しいお金のカタチはともすると、規格をつくる大企業の手澤となりがち。地域限定の電子マネー、個店でも参加できる共通ポイントなどを使い手である住民、商店街などが、自分たち合った仕組みを自ら作り出していく動きが出てきた。いったん広がった後、収縮した地域通貨は、十一(情報技術)や新システムの活用で、より効果的な形に姿容しつつある。



Nikkei  
Marketing  
Journal

日経流通新聞

1月5日(金曜日)  
正月特別編集

地方のポイント全国通用



地域の難店にも付くサイモンズの共通ポイント。店舗のレジで現金を預け、同じ小さな旅館も共通ポイントを預け、同じの辺り旅館

両館駅近の小さな宿、松越店。今冬、雪道で辺り旅館は昨の改装を機も滑りにくい靴底の冬靴を二足買った三十代の主婦は、ランチに訪れる地元客が観光客までいろんなご来店まで使えるので、得よとお勧めです。い

おかみの長谷川千鶴さん(63)は、牛乳一本も加盟店を選んで買物する。二〇〇四年六月に五万円の買い物をした。

船のスーパーヒラツ照和

店。ヒラツではサイモンズを導入して五年の冬、売り上げが一気に二割上がった。大船客もあがポイントの効果を驚いた。平日の朝早く、日本航空や全日空のマイレ

函館の商店に明るさ

ポイントはお金の選流を生む仕組(中山淑博取締役と期待する。役と期待する。共済ポイントとしては、日本航空や全日空のマイレ

二つの額を寄付する。区域内で結する旧来の地域通貨と違い、ポイント発行原資を都市の店が負担する。消費者も無理なく地域

二年を目途にやるなど、地は貢献できる。

二年の有効期限が切れて失効したポイントが地域の慈善団体に寄付する活動が

商店街でためたポイントで結集できるエプソン機のコンピュータ

出来ている。一月からは二万五千店の飲食店を探索して、マイルズがサイモンズに加盟。都心の大きな自治体も全面導入を検討しており、地域間で広まったポイントが大都市とも本格的